

草原新聞

第2号

平成18年3月
発行

地元の小学校で

「出前講座」を始めました

阿蘇の草原を子供たちに伝えるために



この『草原新聞』は、阿蘇市郡内の小中学校に通う児童・生徒をもつ保護者の方にお届けしています。あわせて、小学1年生から3年生には『子どもそうげんしんぶん』を、小学4年生から中学3年生には『草原しんぶん』を配布しています。子どもたちとともに、草原に目を向けるきっかけにしていいただければ幸いです。

環境省では、地元の子供たちや修学旅行などで阿蘇を訪れる子供たちに、阿蘇の草原の魅力をつつぷりと伝えるために、環境省スタッフが現場に出かけて話をする「出前講座」を実施しています。

これまで、地元の小学校をはじめ、県外の修学旅行生や熊本市内の中学生を対象に実施してきました。そのときの様子をご報告します。

【阿蘇市立宮地小学校】

阿蘇に住んでいると、地元のすばらしさや草原の大切さになかなか気が付きません。そこで四季を通じた草原の移り変わりを紹介し、「一番よく登場する生き物は何でしょう?」というクイズをしました。あちこちから「牛?」、「ススキ?」などの声が聞こえ、「人間!」という答えも出てきました。そうです、阿蘇の草原は、人と密接に結びついた自然なのです。子供たちは、放牧、採草、そして野焼きなど、人と自然が深く関わることで豊かになる阿蘇の草原のすばらしさを学んでくれました。

【長崎市立滑石小学校】

根子岳が目の前に見える気持ちのよい草原に行きました。「おれ、カブトムシ?」「かっこいいね?」「ダイコクコガネ っというんだよ。」「牛のうんち が大好きで、うんちの中にいる虫だよ。」「うえっ!」阿蘇の草原で見かける生き物のカードを背中につけ、自分が何の生き物かを当てるゲームをしました。そして、放牧地や採草地など、草原の利用方法の違いにより、生息する生き物たちにも特長があることを学んでもらいました。



阿蘇の草原には毎年多くの観光客が訪れ、感動し、心安らかなひとときを過ごし、忙しい日常生活の元気の源としています。私たち阿蘇に住む者にとっては、普段なにげなく見ている草原ですが、心の奥で私たちを支える「ふるさとの景色」です。この草原を子供たちの世代にも引き継ぐために、学校や地域の方々とともに、子供たちへの学習の場を増やしていきたいと考えています。



風物詩

「火振り神事」

毎年3月に、阿蘇神社で行われる火振り神事。五穀豊穡を祈る阿蘇神社の田作り祭の神事のひとつで、農業の神様が女神をめとる儀式とされる。



急斜面での作業も多い輪地切り

子どもに伝える阿蘇の草原



野焼き(火)

ここでは、小中学生向けの草原新聞で取り上げている題材を簡単に解説しています。

毎年3月になると、阿蘇の草原では野焼きが行われます。ときには数十メートルもの火柱をあげ燃え盛る真っ赤な炎は、春を告げる風物詩であり、この光景をひと目見ようと多くの観光客が訪れます。野焼きは、草を利用して農畜産業を行っている人々にとつて、大変重要な作業です。野焼きによって、新しい草の芽立ちを助け、良質な草原を維持することができるのです。

保護者の方へ

今回の子ども向け草原新聞のねらい

小学校1～3年生を対象とした『子どもそうげんしんぶん』では、草原では枯れ草を焼く作業を行っていること、枯れ草を焼いても春になると新しい草が生えてくることを伝えることをねらいとしています。

小学校4年生～中学生を対象とした『草原しんぶん』では、危険を伴う野焼きを安全に行うために、さまざまな工夫がされていること、また野焼きによって草原環境が維持されていることを伝えることをねらいとしています。

子供たちと一緒に考え、阿蘇の草原のことを伝えてあげてください。

ところが、この野焼きは、死者が出るほど危険な作業です。そのためにさまざまな工夫がされていますが、なかでも、8月・9月の炎天下に行われる「輪地切り(野焼きの際に火が森林や人家に燃え移らないように、幅8mほどの防火帯をつくる作業)」は、想像を超える重労働です。現在では、生活環境の変化や農畜産業の衰退などから草原の利用が減り、さらに危険

で大変な作業を引き継ぐ若者が減り、野焼きを行うことが困難になりつつあります。野焼きが中止された草原は、ヤブ化し、きれいな草原環境は失われます。そうなること、希少植物の減少や、野焼きによる山火事の危険性の増大、観光地としての景観の悪化などにもつながります。こうした現状のなか、阿蘇の草原を守っていくと、財団法人阿蘇グリーンストックによって都市住民を中心とした野焼き支援ボランティアが組織され、野焼きを支援する活動も始まっています。春休み、子供たちと一緒に野焼きについて、調べてみてはいかがでしょうか。阿蘇の先人たちの知恵と工夫に驚かされるでしょう。

子どもの作品を募集します

小学1～3年生の児童の保護者の方へ

- ・『子どもそうげんしんぶん』の表面の塗り絵を完成させ、封筒に入れ80円切手を貼付の上、ご投函ください。
- ・作品はご返却いたしますので、新聞の裏面に住所・氏名をご記入ください
- ・応募いただいた作品は、すべて南阿蘇ビジターセンター(高森町)に展示させていただきます。
- ・応募いただいた作品を環境省レンジャーが審査し、金賞と銀賞を2名ずつ選びます。入選された児童には2006年版草原カレンダーをお送りします。

あて先 環境省 阿蘇自然環境事務所(担当:永原) 〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川1180
締め切り 平成18年4月28日(金)
備考 選考結果は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

2月24日までに応募いただいた作品108点を、南阿蘇ビジターセンターに展示しました。子どもたちの力作をご覧になってみてください。
南阿蘇ビジターセンター
阿蘇郡高森町高森3219 TEL 0967-62-2111
開館時間 9:00～17:00 休館日 水曜



親子で楽しむ草原 × 第2回: 大観峰

大観峰は、標高936メートルの天然の展望台で、阿蘇外輪山の最高地点に位置します。大観峰からは、阿蘇五岳(根子岳、高岳、中岳、烏帽子岳、杵島岳)や、遠くは九重の山々、真下には田畑が広がる阿蘇谷などが望めます。昔は遠見ヶ鼻と呼ばれていましたが、この地を訪れた徳富蘇峰によって大観峰と名づけられました。また、秋晴れの日の早朝には、阿蘇五岳のふもとに雲が海のように広がる「雲海」を見ることもできます。